

## 6m QRP AM トランシーバー(JR8DAG-6AM2020W) - スペクトラムアナライザ計測結果

スペクトラムアナライザ([DSA815-TG](#))を使用して本作品のスプリアス特性を調べました。

JR8DAG/菅野 正人

[JR8DAG-6AM2020Wの概要に戻る](#)

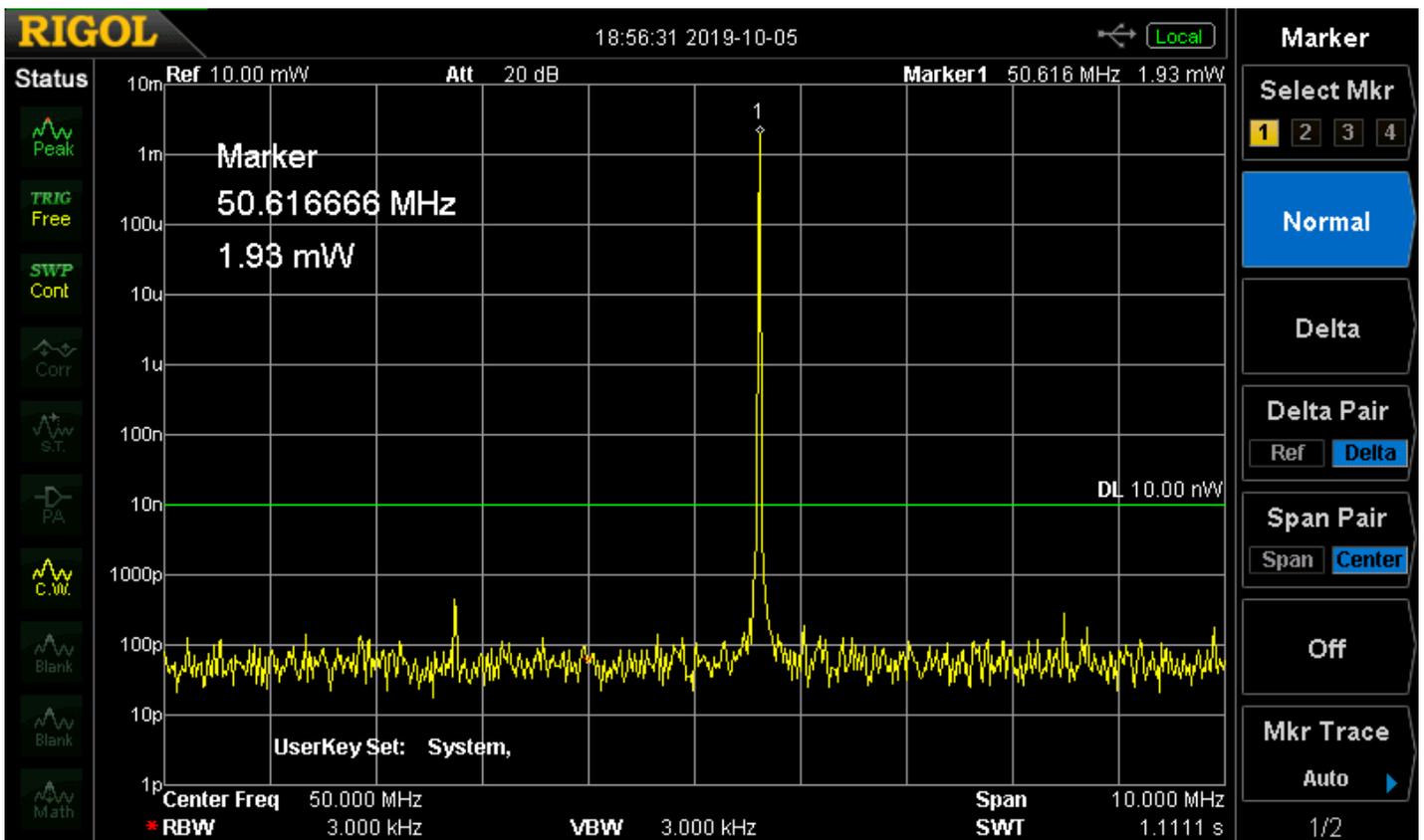
### 【測定条件】

- ・測定器：RIGOL社 [DSA815-TG](#)
- ・測定条件：  
電圧は12V(安定化電源使用)  
無変調時の状態で測定  
周波数は50.620MHz  
20dBのアッテネータを使用して入力

(参考)

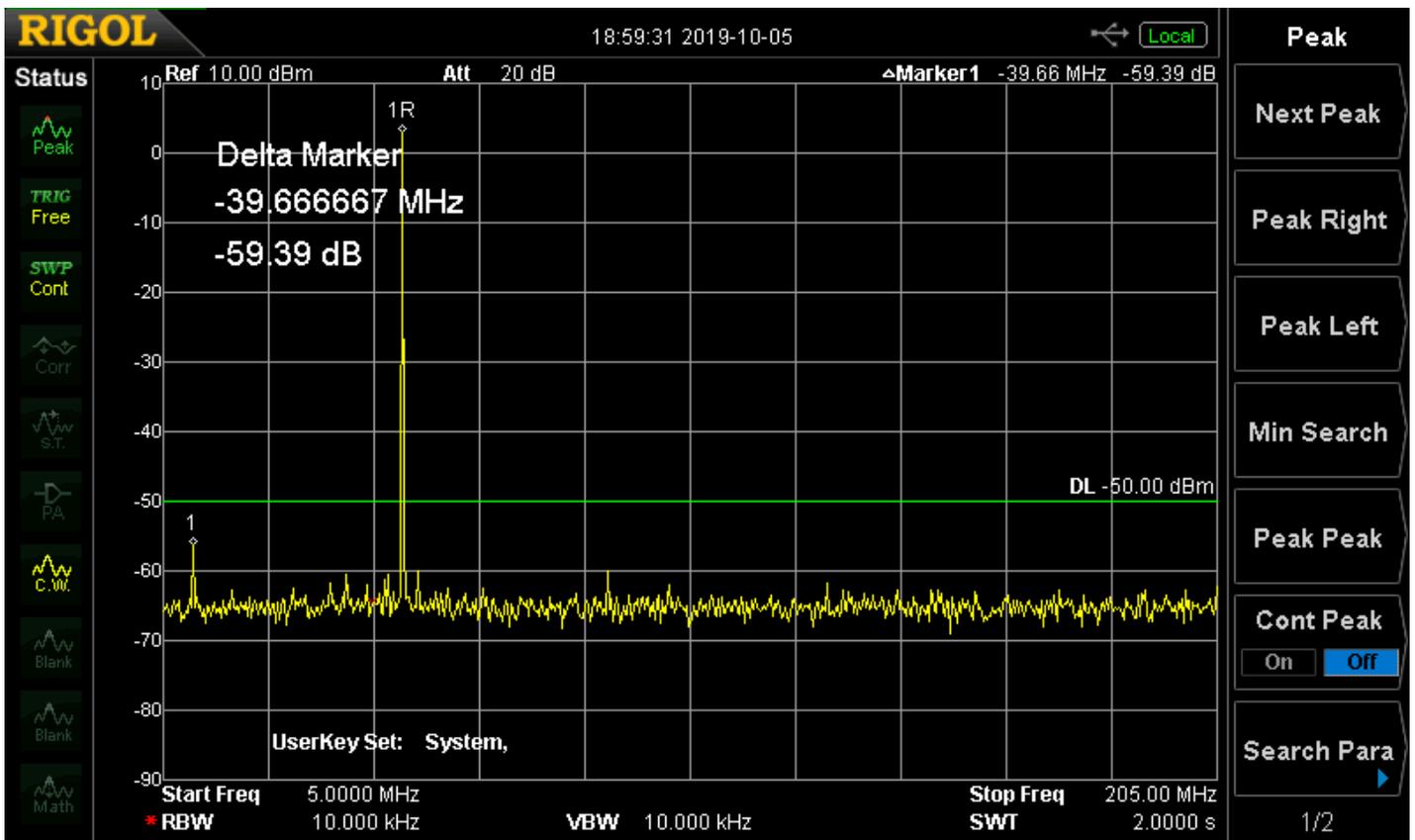
[JARL自作品コンテストにおける動作試験データ](#)

※ 自作品コンテスト返却後に回路変更を行っています。今回のスプリアス計測は回路変更後の計測結果となっています。



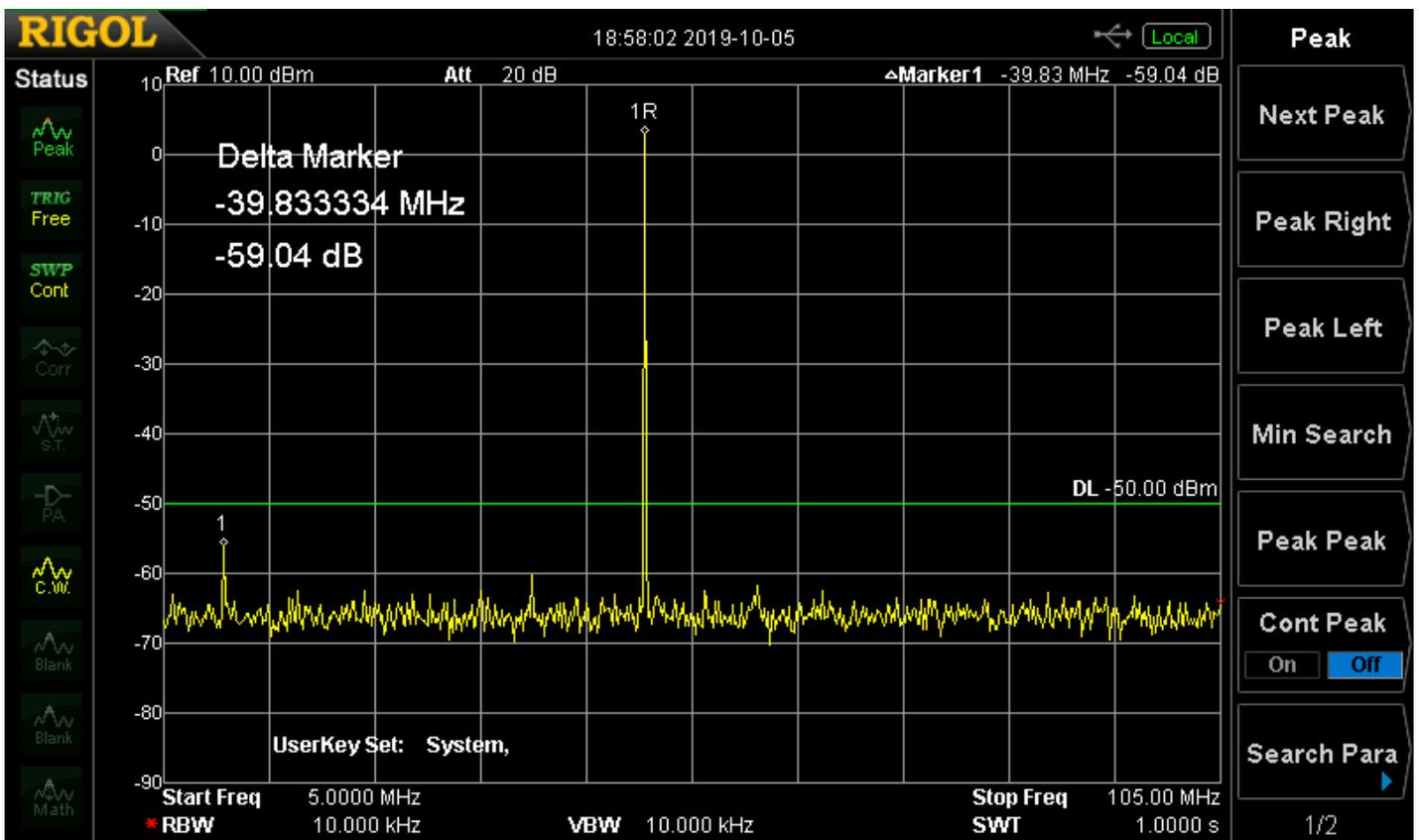
### 【送信出力】

20dBのアッテネータを通しています。送信出力は約190mWです。



【高調波スプリアス】

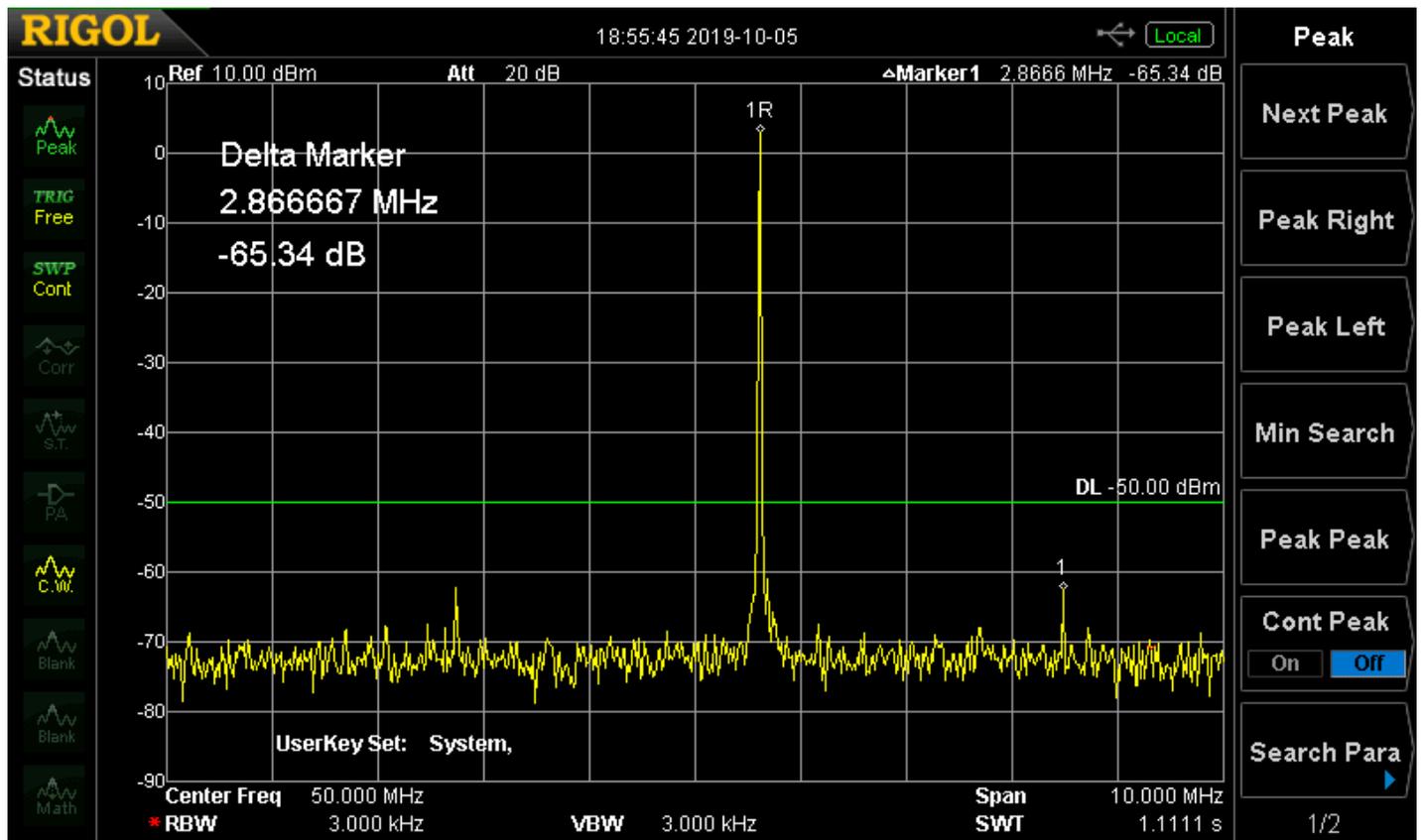
5~205MHzの特性です。第2高調波以上のスプリアスは確認できませんでした。局発の10.7MHzが約-60dBのスプリアスとして検出されていますが、出力200mW送信機のスプリアス特性としては問題はないかと思えます。



【5~105MHzの信号分布】

5~105MHzの計測結果です。局発の10.7MHzが約-60dBのスプリアスとして検出されました。局発の信号レ

ベルを下げると改善されるかもしれません。



【45～55MHzの信号分布】

45～55MHzの計測結果です。局発の5倍波( $10.7\text{MHz} \times 5 = 53.5\text{MHz}$ )が約-65dBのスプリアスとして検出されています。